

## 目標達成計画

作成日: 令和 5年11月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	自治会長様や民生委員様だけでなく、地域の方へも、認知症に関する研修内容等、役立つ情報を還元したい	地域の方へ、認知症に関する研修内容等、役立つ情報を還元できる体制を作る	認知症の研修等を行った時は、研修資料を自治会で回覧していただけないか、自治会長様に相談して、役立つ情報を地域に還元できる方法を検討し、実施に向けて取り組みを行う	12ヶ月
2	36	車椅子を使用される方のトイレ介助の際、車椅子が入るスペースがない為、立位保持が困難な方の場合、アコーディオンカーテンを開けたまま、便座への移乗介助を行う事があり、プライバシー確保ができていない事があった	トイレ介助時のプライバシー確保を徹底できるよう、介助方法を見直す	車椅子使用の方のトイレ介助をする際、立位保持が困難な方の場合、一旦便座への移乗介助を行い、車椅子を出して、アコーディオンカーテンを閉めてから、再度立位介助を行い、支えながらズボンと下着を下げるように統一する	1ヶ月
3	54	居室の棚にぶつかり転倒された方は、棚をクローゼットにしまったりした 壁にピンをさすと危ないので無地のままだと殺風景な部屋になり、温かみに欠けていた	思い出の物や好きな物に囲まれ、居室で穏やかに過ごしていただけるよう工夫する	ご家族に思い出の品を持って来ていただく 壁は押しピンではなく、粘着力のあるゴムを使う等して、ご自分が作られた作品や塗り絵等を貼る	6ヶ月